

第9回 痛みに対する 認知行動療法 研修会

- ・ 大野裕先生による
リハビリーを目指したCBT
(Recovery oriented
cognitive therapy;CT-R)に
ついての解説
- ・ ALLEN R. MILLER
(CBT Program Director of
Beck Institute)
による難治性慢性痛患者に対する
CT-Rロールプレイ動画
- ・ グループディスカッション
- ・ ブレイクアウトルーム
- ・ 総合討論

 2024年
2月12日(月・祝)

 10:00~13:00

オンライン開催

参加費：3,000円

THE SPEAKER LINEUP



大野 裕

慶應義塾大学元教授
国立精神・神経医療研究センター
認知行動療法センター初代センター長
(現、顧問)

現在一般社団法人認知行動療法研修開
発センター理事長
日本に初めて認知行動療法を導入した
認知行動療法の第一人者



柴田 政彦

大阪大学大学院医学系研究科疼痛医学寄
附講座元教授
奈良学園大学保健医療学部教授
大阪大学大学院医学系研究科招へい教授
NPO法人痛みにとりくむしらかば理事長

難治性の痛み患者の診療を通して痛みの
診療に臨床心理学の重要性を学び、臨床
心理士、公認心理師の資格を取得した。
慢性痛に対する認知行動療法の研究者



西江宏行

川崎医科大学附属病院麻酔・集中治療科
講師

ペインクリニックの診療を通して心理的
なアプローチが重要だと感じて、海外の
痛みセンターを訪問しその方法を学ばれ
てきた麻酔科の医師



安達 友紀

神戸大学大学院人間発達環境学研究所
助教

大阪大学医学部附属病院疼痛医療セ
ンター、滋賀医科大学医学部附属病院
学際的痛み治療センターにて心理師と
しての臨床経験を積むとともに慢性痛
に関連した多くの臨床研究を行ってき
た心理師



細越 寛樹

関西大学社会学部社会学科心理学専攻
教授

慢性痛に対する認知行動療法プログラ
ムを仲間と共に開発し、その有効性を
検証する多施設共同の臨床試験をとり
まとめている心理師

お申込み・詳細はこちら

<https://shirakaba.website/index.html>



特定非営利活動法人痛みにとりくむしらかば

Mail: info@shirakaba.website